



## CLI クイック リファレンス ガイド

この章は、次の項で構成されています。

次の表を使用すると、目的の CLI コマンドを見つけ、その簡単な説明と C-Series および M-Series の各プラットフォームで実行可能かどうかを確認できます。

- [CLI コマンド \(確定が不要なもの\)](#) (1 ページ)
- [CLI コマンド \(確定が必要なもの\)](#) (8 ページ)

### CLI コマンド (確定が不要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">ampstatus</a>	さまざまなファイルレピュテーションおよび分析コンポーネントのバージョンを表示します。	C-Series
<a href="#">antispamstatus</a>	Anti-Spam ステータスを表示します。	C-Series
<a href="#">antispamupdate</a>	スパム定義を手動で更新します。	C-Series
<a href="#">antivirusstatus</a>	Anti-Virus ステータスを表示します。	C-Series
<a href="#">antivirusupdate</a>	ウイルス定義を手動で更新します。	C-Series
<a href="#">archivemessage</a>	キュー内の古いメッセージをアーカイブします。	C-Series
<a href="#">bouncerecipients</a>	キューからメッセージをバウンスします。	C-Series、M-Series
<a href="#">talosupdate</a>	すべての Talos エンジンの更新を要求します。	C-Series
<a href="#">talosstatus</a>	Talos Intelligence Services モジュールの現在のバージョンを表示します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">clearchanges</a> または <a href="#">clear</a>	変更をクリアします。	C-Series、M-Series
<a href="#">commit</a>	変更を確定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">commitdetail</a>	最後の確定に関する詳細情報を表示します。	C-Series
<a href="#">contentscannerstatus</a>	コンテンツスキャナバージョン情報を表示します。	C-Series
<a href="#">contentscannerupdate</a>	コンテンツスキャナエンジンの手動更新を要求します。	C-Series
<a href="#">date</a>	現在の日時を表示します	C-Series、M-Series
<a href="#">daneverify</a>	指定されたドメインの DANE がサポートされているかどうかを確認します。	C-Series
<a href="#">deleterecipients</a>	キューからメッセージを削除します。	C-Series、M-Series
<a href="#">delivernow</a>	メッセージのスケジュールを即時配信用に再設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">diagnostic</a>	RAID ディスク、ネットワーク キャッシュ、および SMTP 接続をチェックします。ネットワーク キャッシュをクリアします。	C-Series、M-Series
<a href="#">dig</a>	DNS サーバー上でレコードをルックアップします	C-Series
<a href="#">displayalerts</a>	電子メールゲートウェイから送信された最後の n 個のアラートを表示します	C-Series、M-Series
<a href="#">dlpstatus</a>	DLP エンジンのバージョン情報	C-Series
<a href="#">dlpupdate</a>	DLP エンジンを更新します。	C-Series
<a href="#">dnsflush</a>	DNS キャッシュからすべてのエントリをクリアします。	C-Series、M-Series
<a href="#">dnslisttest</a>	DNS ベースのリスト サービスの DNS ルックアップをテストします。	C-Series
<a href="#">dnsstatus</a>	DNS 統計情報を表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">domainreconfig</a>	ドメイン例外リストの作成	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<code>ecstatus</code>	証明書を取得するのに使用する登録クライアントのバージョンを確認します	C-Series
<code>ecupdate</code>	証明書を取得するのに使用する登録クライアントを更新します	C-Series
<code>encryptionstatus</code>	PXE エンジンとドメイン マッピング ファイルのバージョンを表示します。	C-Series
<code>encryptionupdate</code>	PXE エンジンの更新を要求します。	C-Series
<code>enginestatus</code>	電子メールゲートウェイ上でイネーブルになっているすべてのエンジンのステータスと CPU 使用率を表示します。	C-Series
<code>featurekey</code>	システム機能キーを管理します。	C-Series、M-Series
<code>findevent</code>	メールログファイルのイベントを検索します	C-Series、M-Series
<code>fipsconfig</code>	FIPS の設定値を設定します	C-Series、M-Series
<code>geolocationupdate</code>	地理位置情報リストを手動で更新します。	C-Series
<code>geolocationstatus</code>	地理位置情報リストの現在のバージョンが表示されます。	C-Series
<code>howtoupdate</code>	How-To コンポーネントを手動で更新します	C-Series
<code>howtostatus</code>	How-To コンポーネントの現在のバージョンが表示されます	C-Series
<code>graymailstatus</code>	既存のグレイメール ルールの詳細を表示します	C-Series
<code>graymailupdate</code>	手動でグレイメール ルールを更新します	C-Series
<code>grep</code>	ログ ファイル内のテキストを検索します。	C-Series、M-Series
<code>healthcheck</code>	電子メールゲートウェイの状態を確認します。	C-Series
<code>help</code> または <code>h</code> または <code>?</code>	ヘルプ	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<code>hostrate</code>	特定のホストのアクティビティをモニターします。	C-Series、M-Series
<code>hoststatus</code>	特定のホスト名のステータスを取得します。	C-Series、M-Series
<code>last</code>	システムに最近ログインしたユーザーを表示します。	C-Series、M-Series
<code>ldapflush</code>	キャッシュされている LDAP の結果をフラッシュします。	C-Series
<code>ldaptest</code>	1 つの LDAP クエリー テストを実行します。	C-Series
<code>loadlicense</code>	仮想電子メールゲートウェイ ライセンスをロードします	すべての仮想電子メールゲートウェイ
<code>mailconfig</code>	現在の設定を電子メール アドレスに送信します。	C-Series、M-Series
<code>marstatus</code>	MAR コンポーネントの現在のバージョンを表示します。	C-Series
<code>marupdate</code>	MAR コンポーネントを手動で更新します。	C-Series
<code>nslookup</code>	ネームサーバーに問い合わせます。	C-Series、M-Series
<code>netstat</code>	ネットワーク接続、ルーティング テーブル、およびネットワーク インターフェイス統計情報を表示します。	C-Series、M-Series
<code>outbreakflush</code>	キャッシュされている発生ルールをクリアします。	C-Series
<code>outbreakstatus</code>	現在のアウトブレイク ルールを表示します。	C-Series
<code>outbreakupdate</code>	ウイルス感染フィルタ ルールを更新します。	C-Series
<code>oldmessage</code>	キュー内の古いメッセージのリストを表示します。	C-Series
<code>packetcapture</code>	ネットワーク経由で送受信されたパケットを傍受して表示します。	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
passphrase または passwd	パスワードを変更する	C-Series、M-Series
ping	ネットワーク ホストに対して ping を実行します。	C-Series、M-Series
ping6	IPV6 を使用するネットワーク ホストに ping を実行します	C-Series、M-Series
quit または q または exit	終了します。	C-Series、M-Series
rate	メッセージのスループットをモニターします。	C-Series、M-Series
reboot	システムを再起動する	C-Series、M-Series
redirectrecipients	すべてのメッセージを別のリレー ホストにリダイレクトします。	C-Series
removemessage	古い未配信のメッセージをキューから削除します。	C-Series
repingstatus	レピュテーション エンジンのバージョン情報を要求します	C-Series、M-Series
resetconfig	工場出荷時のデフォルト設定に戻します。	C-Series、M-Series
resetcounters	システム内のすべてのカウンタをリセットします。	C-Series、M-Series
resume	受信と配信を再開します。	C-Series、M-Series
resumedel	配信を再開します。	C-Series、M-Series
resumelistener	受信を再開します。	C-Series、M-Series
revert	以前のリリースに戻します	C-Series、M-Series
rollovernow	ログ ファイルをロール オーバーします。	C-Series、M-Series
saveconfig	設定をディスクに保存します。	C-Series、M-Series
sdrupdate	SDR コンポーネントを手動で更新します	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">sdrdiagnostics</a>	Cisco E メールセキュリティ ゲートウェイが SDR サービスに接続されているかどうかを確認します	C-Series
<a href="#">settime</a>	システム クロックを手動で設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">showmessage</a>	キュー内の古い未配信のメッセージを表示します。	C-Series
<a href="#">showconfig</a>	すべての設定値を表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">showlicense</a>	仮想電子メールゲートウェイのライセンス情報を表示します	すべての仮想電子メールゲートウェイ
<a href="#">show_license</a>	スマート ライセンスのステータスとステータスの概要を表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">showrecipients</a>	キュー内のメッセージを受信者ホスト別または Envelope From アドレス別に表示するか、すべてのメッセージを表示します。	C-Series
<a href="#">shutdown</a>	システムをシャットダウンして電源を切ります。	C-Series、M-Series
<a href="#">slblconfig</a>	セーフリスト/ブロックリストの設定値を設定します	C-Series
<a href="#">status</a>	System status	C-Series、M-Series
<a href="#">supportrequest</a>	Cisco TAC にメッセージを送信します	C-Series、M-Series
<a href="#">supportrequeststatus</a>	サポート要求のキーワードのバージョン情報を表示します	C-Series、M-Series
<a href="#">supportrequestupdate</a>	サポート要求のキーワードの手動更新を要求します	C-Series、M-Series
<a href="#">suspend</a>	受信と配信を中断します。	C-Series、M-Series
<a href="#">suspenddel</a>	配信を中断します。	C-Series、M-Series
<a href="#">suspendlistener</a>	受信を中断します。	C-Series、M-Series
<a href="#">systemsetup</a>	最初のシステム設定。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">tail</a>	ログ ファイルの最新部分を継続的に表示します	C-Series、M-Series
<a href="#">techsupport</a>	Cisco TAC がシステムにアクセスできるようにします	C-Series、M-Series
<a href="#">telnet</a>	リモート ホストに接続します。	C-Series、M-Series
<a href="#">threatfeedstatus</a>	ETF エンジンの現在のバージョンを表示します	C-Series
<a href="#">threatfeedupdate</a>	ETF エンジンを手動で更新します	C-Series
<a href="#">tlsverify</a>	リモート ホストに対する発信 TLS 接続を確立し、TLS 接続の問題をデバッグします。	C-Series
<a href="#">tophosts</a>	キューのサイズの順に上位のホストを表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">topin</a>	着信接続の数の順に上位のホストを表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">trace</a>	システムを通過するメッセージのフローを追跡します。	C-Series、M-Series
<a href="#">traceroute</a>	リモートホストへのネットワーク ルートを表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">traceroute6</a>	IPV6 を使用するリモート ホストへのネットワーク ルートを表示します。	C-Series、M-Series
<a href="#">trailblazerconfig</a>	電子メールゲートウェイの新しい Web インターフェイスで HTTP と HTTPS のポートを介して受信接続と送信接続をルーティングします。	C-Series、M-Series
<a href="#">tzupdate</a>	タイムゾーン ルールを更新します。	C-Series、M-Series
<a href="#">updatenow</a>	すべてのコンポーネントを更新します。	C-Series、M-Series
<a href="#">upgrade</a>	アップグレードをインストールします。	C-Series、M-Series
<a href="#">version</a>	システムのバージョン情報を表示します。	C-Series、M-Series

## CLI コマンド (確定が必要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
wipedata	ディスクのコア ファイルを消去し、最後のコアダンプ操作のステータスを確認します	C-Series、M-Series
websecuritydiagnostics	URL フィルタリングの診断統計情報を表示します	C-Series、M-Series
who	ログイン中のユーザーのリストを表示します。	C-Series、M-Series
whoami	現在のユーザー ID を表示します。	C-Series、M-Series
workqueue	作業キューの一時停止ステータスを表示および変更します。	C-Series

## CLI コマンド (確定が必要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
addressconfig	システムで生成するメールの From: アドレスを設定します。	C-Series、M-Series
addresslistconfig	アドレス リストを設定します。	C-Series
adminaccessconfig	ネットワーク アクセス リストとバナー ログインを設定します。	C-Series
aggregatorconfig	シスコのアグリゲータ サーバーのアドレスを設定します	C-Series
alertconfig	電子メール アラートを設定します。	C-Series、M-Series
aliasconfig	電子メール エイリアスを設定します。	C-Series
altsrhost	Virtual Gateway™ のマッピングを設定します	C-Series
ampconfig	高度なマルウェア対策を設定します (ファイル レピュテーションおよび分析)	C-Series、M-Series
antispamconfig	Anti-Spam ポリシーを設定します。	C-Series
antivirusconfig	Anti-Virus ポリシーを設定します。	C-Series
bounceconfig	バウンスの動作を設定します。	C-Series、M-Series



CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">bvconfig</a>	発信メールのキー設定値を設定し、無効なバウンスの処理方法を設定します。	C-Series
<a href="#">callaheadconfig</a>	SMTP コールアヘッド プロファイルを追加、編集、または削除します	C-Series、M-Series
<a href="#">certconfig</a>	セキュリティの証明書とキーを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">cloudserviceconfig</a>	Cisco Cloud Services ポータルの設定と使用方法を設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">clusterconfig</a>	クラスタ関連の設定を実行します。	C-Series
<a href="#">csaconfig</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子メールゲートウェイで Cisco Secure Awareness クラウドサービスを有効にします。</li> <li>リポートクリッカーリストの詳細を表示します。</li> <li>リポートクリッカーリストを更新します。</li> </ul>	C-Series
<a href="#">csastatus</a>	Cisco Secure Awareness のコンポーネントの現在のバージョンを表示します。	C-Series
<a href="#">csaupdate</a>	Cisco Secure Awareness のコンポーネントを手動で更新します。	C-Series
<a href="#">deliveryconfig</a>	メール配信を設定します。	C-Series
<a href="#">destconfig</a>	[送信先コントロール (Destination Controls) ] テーブルのオプションを設定します。	C-Series
<a href="#">dictionaryconfig</a>	コンテンツ ディクショナリを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">diskquotaconfig</a>	ディスクの容量を設定します	C-Series、M-Series
<a href="#">dmarconfig</a>	DMARC の設定値を設定します	C-Series
<a href="#">dnsconfig</a>	DNS のセットアップを設定します。	C-Series
<a href="#">dnshostprefs</a>	IPv4/IPv6 DNS を設定します	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">dnslistconfig</a>	DNS リスト サービスのサポートを設定します。	C-Series
<a href="#">domainkeysconfig</a>	DomainKeys のサポートを設定します。	C-Series
<a href="#">ecconfig</a>	証明書を取得するのに使用する登録クライアントを設定します	C-Series、M-Series
<a href="#">encryptionconfig</a>	電子メール暗号化を設定します。	C-Series
<a href="#">etherconfig</a>	イーサネットの設定値を設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">exceptionconfig</a>	ドメイン例外テーブルを設定します。	C-Series
<a href="#">featurekeyconfig</a>	機能キーを自動的にチェックし、更新します。	C-Series、M-Series
<a href="#">filters</a>	メッセージ処理オプションを設定します。	C-Series
<a href="#">filehashlistconfig</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされているファイルハッシュタイプ (MD5 または SHA-256) のいずれかのファイルハッシュリストを作成します。</li> <li>特定のファイルハッシュに一致する添付ファイルを含んだメッセージに対してアクションを実行するようにコンテンツフィルタを設定するためのファイルハッシュリストを作成します。</li> <li>外部脅威フィード (ETF) 機能の例外リストとして使用するファイルハッシュリストを作成します。</li> </ul>	C-Series
<a href="#">generalconfig</a>	ブラウザ設定などの一般的な設定を行います	C-Series、M-Series
<a href="#">healthconfig</a>	電子メールゲートウェイのさまざまな正常性パラメータのしきい値を設定します	C-Series、M-Series
<a href="#">imageanalysisconfig</a>	IronPort イメージ分析の設定値を設定します	C-Series、M-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">imsandgraymailconfig</a>	Cisco Intelligent Multi-Scan (IMS)、グレイメール検出、および安全な登録解除の設定。	C-Series、M-Series
<a href="#">incomingrelayconfig</a>	着信リレーを設定します。	C-Series
<a href="#">interfaceconfig</a>	イーサネット IP アドレスを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">ldapconfig</a>	LDAP サーバーを設定します。	C-Series
<a href="#">license_smart</a>	スマート ソフトウェア ライセンス機能の設定	C-Series、M-Series
<a href="#">listenerconfig</a>	メール リスナーを設定します。	C-Series
<a href="#">loadconfig</a>	設定ファイルをロードします。	C-Series、M-Series
<a href="#">localeconfig</a>	多言語対応の設定値を設定します。	C-Series
<a href="#">logconfig</a>	ログ ファイルへのアクセスを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">ntpconfig</a>	NTP タイム サーバーを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">oidconfig</a>	AsyncOS API の電子メールゲートウェイで OpenID Connect を設定します。 電子メールゲートウェイで OpenID Connect 構成設定を削除します。	C-Series、M-Series
<a href="#">outbreakconfig</a>	感染フィルタを設定します。	C-Series
<a href="#">policyconfig</a>	受信者単位または送信者ベースのポリシーを設定します。	C-Series
<a href="#">portalregistrationconfig</a>	電子メールゲートウェイに Cisco Talos 電子メールステータスポータルの登録 ID を設定します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">protectedattachmentconfig</a>	<p>発着信メッセージ内のパスワードで保護された添付ファイルのスキャンの有効化。</p> <p>ユーザー定義のパスフレーズを作成して、着信メッセージまたは発信メッセージ内のパスワードで保護された添付ファイルを開きます。</p> <p>ユーザー定義のパスフレーズの優先順位の切り替え。</p> <p>ユーザー定義のパスフレーズを編集します。</p> <p>ユーザー定義のパスフレーズを削除します。</p> <p>ユーザー定義のパスフレーズを表示します。</p>	C-Series
<a href="#">quarantineconfig</a>	システムの隔離を設定します。	C-Series
<a href="#">reportingconfig</a>	レポートニングの設定値を設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">rollbackconfig</a>	以前に確定された設定の1つにロールバックします	C-Series、M-Series
<a href="#">routeconfig</a>	IP ルーティング テーブルを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">safeprint</a>	電子メールゲートウェイで Safe Print の設定を構成します。	C-Series、M-Series
<a href="#">samlconfig</a>	サービス プロバイダーおよびアイデンティティ プロバイダーの設定を含む SAML プロファイルを設定します	C-Series、M-Series
<a href="#">scanconfig</a>	添付ファイルのスキャン ポリシーを設定します。	C-Series
<a href="#">sdrconfig</a>	電子メールゲートウェイで SDR フィルタリングを有効化して設定します。	C-Series
<a href="#">sdradvancedconfig</a>	電子メールゲートウェイを SDR サービスに接続する場合に詳細パラメータを設定します。	C-Series

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">servicelogsconfig</a>	電子メールゲートウェイのサービスログを有効化または無効化します。	C-Series
<a href="#">setgateway</a>	デフォルト ゲートウェイ (ルータ) を設定します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">sethostname</a>	マシンの名前を設定します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">settz</a>	ローカル タイムゾーンを設定します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">sievechar</a>	RFC 3598 に規定されている Sieve 電子メール フィルタリングの文字を設定します。	C-Series
<a href="#">smartaccountinfo</a>	Cisco Smart Software Manager ポータルで作成したスマートアカウントの詳細の表示	C-Series、 M-Series
<a href="#">smimeconfig</a>	S/MIME の機能を設定します	C-Series、 M-Series
<a href="#">smtpauthconfig</a>	SMTP Auto プロファイルを設定します。	C-Series
<a href="#">smtproutes</a>	永続的なドメイン転送を設定します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">snmpconfig</a>	SNMP の設定	C-Series、 M-Series
<a href="#">sshconfig</a>	SSH キーを設定します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">sslconfig</a>	SSL の設定値を設定します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">stripheaders</a>	削除するメッセージ ヘッダーを設定します。	C-Series
<a href="#">tcpsservices</a>	プロセスによって開かれているファイルに関する情報を表示します	C-Series、 M-Series
<a href="#">textconfig</a>	テキスト リソースを設定します。	C-Series
<a href="#">threatfeedconfig</a>	電子メールゲートウェイで ETF エンジン を有効化して設定します	C-Series
<a href="#">trackingconfig</a>	トラッキング システムを設定します	C-Series、 M-Series
<a href="#">unsubscribe</a>	グローバル配信停止リストを更新します。	C-Series、 M-Series
<a href="#">updateconfig</a>	システム更新パラメータを設定します。	C-Series

## CLI コマンド (確定が必要なもの)

CLI コマンド	説明	実行可能なプラットフォーム
<a href="#">urlistconfig</a>	安全な URL の許可リストを設定します。	C-Series、M-Series
<a href="#">userconfig</a>	ユーザー アカウントと外部の認証ソースへの接続を管理します。	C-Series、M-Series
<a href="#">websecurityadvancedconfig</a>	URL フィルタリングの詳細設定を設定します	C-Series、M-Series
<a href="#">websecurityconfig</a>	URL フィルタリングのグローバル設定を設定します	C-Series、M-Series